

すべての女性を応援します！ 2011.3.25

Mari Mari 臨時号



遠くを想つて

故郷を旅立ち見つけたもの。  
ベストパートナー、やりたいこと、  
秋田の白い肌…。  
一歩踏み出す勇気が、  
未来を輝かせてくれた。





## mari\*mari close-up

# Try & Fail

インターフェイス株式会社  
代表取締役

## 野澤 一美 さん

いつものように、華やかでありたい女性にとつていわば、相棒とも言える化粧品。国内だけでなく海外メーカーも含め数えきれないほどの商品が販売されているが、私たちの手元にたどり着くまで、あるテストを受けているという話は意外に知られていない。製品の安全性・有用性を調べるために行われる「クリニカル試験」。日本では耳慣れないこのテストと野澤さんが出会ったのは、留学先のアメリカ。そこは、世界中の製品の試験が盛んに行われている場所だった。

野澤さんがアメリカ留学を決めたのは27歳のとき。そのころの自分を普通のOL。むしろ周囲よりついでにと思っただけ。たぐらいいと、笑って振り返る。不動産金融会社に勤務していた当時、同年代は専業主婦、オフィスでは若い後輩が増え、27歳くらいで、

女性の転機だと思っただけ。え、同意する女性はいない。時代はバブル景気。会社を格好良く辞めるとなると、結婚か。留学、2つの選択肢が多かったという。そんなとき偶然目にした占いの「遠くへ行く運が開ける」というメッセージに目が留まる。「どうせなら遠くへ行ってみよう」と、留学を決意。貯金と退職金を握り締め、単身アメリカのダラスへ渡ったのだ。

そこから多くの出会いがある。最初の出会いは、夫・イゴアさん。語学学校に通っていた野澤さんに「君は何がしたいの?」とイゴアさんは問いかけたという。英語を身につければ仕事が見つかるかと考えていたが、ここはアメリカ。英語が話せるだけの人はたくさんいる。手に職が必要だと考え、大学に入学。ビジネスと得意だった理系分野を専攻した。在学中は「もう勉強は十分!」と思うほど勉強に没頭。見事卒業を果たした。

次に会いは、学費のために探した化粧品モニターのアルバイト。募集の告知を見て、被験者になるつもりで面接に行く。と会社幹部がざらりと並んでいた。実は、モニター実施側のスタッフ募集だったのだ。そうして出会った「クリニカル試験」の仕事は、野澤さんにとつてやりがいを感じるものだった。大学卒業後も続け、13年ほど勤務。雇用主、クライアントの信頼も厚く、部長まで務めた。

その後、帰国して起業を考えているときに、秋田で起業する人に向けた制度がある。偶然にも、秋田は美肌の女性が多い土地。「美人で有名なんで珍しい! いいキーワードだ」というイゴアさんの勧めもあり、これまで縁のなかつた秋田での起業を決めた。これが野澤さんと秋田美人との出会い。秋田女性の色白は試験の結果が分かりやすく、メーカーへのアピール材料にもなった。「秋田の人は、素顔を見せることに抵抗が少なく、何

より時間厳守してくれ。クリニカル試験を行うにはうれしい県民性です」と、秋田女性への信頼感を語ってくれた。思い切って留学したアメリカは野澤さんにとって大切な場所。「空港に降り立つだけで心が開放される。過ごしていると、毎朝リフレッシュできるんです」と語る。アメリカの空気も、失敗を恐れずに挑戦し続けるという意味の、イゴアさんの助

言「Try & Fail (トライアンドフェール)の精神も。アメリカの感覚が、野澤さんのベースと合ったのかもしれない。ついでに思っていたOLから、毎日が充実している女性起業家に。今後は東北の他県にも展開していきたいと語る野澤さんの笑顔は、遠くに飛び出すことで得られる出会いの大切さ、そして一歩踏み出す勇気を教えてくれるようだった。



Profile

のざわ・かずみさん (46)  
埼玉県長瀨 (ながとろ) 出身。秋田市在住。27歳のときアメリカ・ダラスに語学留学し、テキサス州立大学の電子工学科を修了。クリニカル試験を行う米国企業に勤務し部長を務める。帰国し、2006年6月に秋田市で「インターフェイス株式会社」を設立。現在、米国出身の夫イゴア・シュターンさんと交互に、日本とアメリカを行き来する生活を送っている。



1~2日目

受け付けを済ませて順番を待ち、別室で背中にテスト用のパッチを貼ります。これで1日目は終了。24時間後、同じ時間に来社し、専門医(皮膚科)のチェックを行います。

3日目

最後は、野澤さんによるアレルギーチェック(所要時間5分程度)。アレルギー反応は時間がたってから出るため、3日目に確認。

### クリニカル試験

化粧品メーカーなどの依頼により、発売前製品の安全性・有用性を調べるため行う試験。現在、秋田市の女性モニターは3000人。今後は4000人を目指している。取材した、3月に行ったクリニカル試験。15種類の製品を1日40人にパッチテストしていた。



Work

インターフェイス株式会社  
秋田県秋田市旭北寺町1-1  
tel.018-863-0003 (代表)

言「Try & Fail (トライアンドフェール)の精神も。アメリカの感覚が、野澤さんのベースと合ったのかもしれない。ついでに思っていたOLから、毎日が充実している女性起業家に。今後は東北の他県にも展開していきたいと語る野澤さんの笑顔は、遠くに飛び出すことで得られる出会いの大切さ、そして一歩踏み出す勇気を教えてくれるようだった。